

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
 代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
 (コード番号：4579)
 問 合 せ 先 常務執行役員 河田 喜一郎
 (TEL. 052-446-6100)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、本日平成27年7月10日に公表いたしました『役員報酬の減額に関するお知らせ』及び『営業外収益、営業外費用、特別利益および特別損失の計上に関するお知らせ』及び最近の業績動向等を踏まえ、平成27年5月19日に公表した平成27年12月期～平成29年12月期中期経営計画に関し、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 売上・損益目標修正の概要（平成27年度通期業績予想）

【見直後】

（百万円）

非連結	事業収益	事業費用	営業損失（△）	経常損失（△）	当期純損失（△）
平成26年度通期（実績）	153	2,275	△2,122	△1,942	△464
平成27年度通期（計画）	600	<u>2,040</u>	<u>△1,440</u>	<u>△1,378</u>	<u>△1,475</u>
平成28年度通期（目標）	1,200	<u>2,075</u>	<u>△875</u>	<u>△875</u>	<u>△879</u>
平成29年度通期（目標）	1,600	<u>1,778</u>	<u>△178</u>	<u>△178</u>	<u>△181</u>

【見直前】（平成27年5月19日公表値）

（百万円）

非連結	事業収益	事業費用	営業損失（△）	経常損失（△）	当期純損失（△）
平成26年度通期（実績）	153	2,275	△2,122	△1,942	△464
平成27年度通期（計画）	600	2,069	△1,469	△1,435	△1,495
平成28年度通期（目標）	1,200	2,259	△1,059	△1,059	△1,063
平成29年度通期（目標）	1,600	1,958	△358	△358	△362

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
 当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

(修正箇所一覧表)

修正箇所	修正前	修正後
中期経営計画の基本方針(1)当中期経営計画提出時における前事業年度の総括(P15)	(業績) -	(業績) ※非連結ベース。
ラクオリアの「強み」と「魅力」(3)ポートフォリオの状況(P14)	・表内、アシッドポンプ拮抗薬(RQ-00000004)フェーズ2(第2相) ・表内、5-HT2B拮抗薬(RQ-00310941)前臨床	・表内、アシッドポンプ拮抗薬(RQ-00000004)フェーズ3(第3相) ・表内、5-HT2B拮抗薬(RQ-00310941)フェーズ1(第1相)
ラクオリアの「強み」と「魅力」(4)コアプログラムの状況(P15)	・表内、アシッドポンプ拮抗薬(RQ-00000004)フェーズ2(第2相) ・表内、5-HT2B拮抗薬(RQ-00310941)前臨床	・表内、アシッドポンプ拮抗薬(RQ-00000004)フェーズ3(第3相) ・表内、5-HT2B拮抗薬(RQ-00310941)フェーズ1(第1相)
ラクオリアの「強み」と「魅力」(9)アシッドポンプ拮抗薬(RQ-00000004)(P20)	開発状況 第Ⅱ相臨床試験終了、第Ⅲ相臨床試験準備中(韓国)	開発状況 第Ⅲ相臨床試験開始(韓国)
今期の業績予想及び今後の業績目標(3)今期の業績予想と今後の業績目標(概要)(P26)	(※表内、平成27年12月期(計画)当期) 営業損失(△) ; <u>△1,469</u> 経常損失(△) ; <u>△1,435</u> 当期純損失(△) ; <u>△1,495</u> (※表内、平成28年12月期(目標)) 営業損失(△) ; <u>△1,059</u> 経常損失(△) ; <u>△1,059</u> 当期純損失(△) ; <u>△1,063</u> (※表内、平成29年12月期(目標)) 営業損失(△) ; <u>△358</u> 経常損失(△) ; <u>△358</u> 当期純損失(△) ; <u>△362</u>	(※表内、平成27年12月期(計画)当期) 営業損失(△) ; <u>△1,440</u> 経常損失(△) ; <u>△1,378</u> 当期純損失(△) ; <u>△1,475</u> (※表内、平成28年12月期(目標)) 営業損失(△) ; <u>△875</u> 経常損失(△) ; <u>△875</u> 当期純損失(△) ; <u>△879</u> (※表内、平成29年12月期(目標)) 営業損失(△) ; <u>△178</u> 経常損失(△) ; <u>△178</u> 当期純損失(△) ; <u>△181</u>
今期の業績予想及び今後の業績目標(5)事業費用の概要(P28)	(※表内、平成27年12月期(計画)) 事業費用 ; <u>2,069</u> (内)人件費 ; <u>853</u> (内)研究開発費 ; <u>579</u> (内)管理統制費 ; <u>308</u> (内)施設関連費 ; <u>191</u> (内)その他 ; <u>138</u> (※表内、平成28年12月期(目標)) 事業費用 ; <u>2,259</u> (内)人件費 ; <u>806</u>	(※表内、平成27年12月期(計画)) 事業費用 ; <u>2,040</u> (内)人件費 ; <u>755</u> (内)研究開発費 ; <u>630</u> (内)管理統制費 ; <u>323</u> (内)施設関連費 ; <u>174</u> (内)その他 ; <u>158</u> (※表内、平成28年12月期(目標)) 事業費用 ; <u>2,075</u> (内)人件費 ; <u>622</u>

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

修正箇所	修正前	修正後
	(※表内、平成29年12月期(目標)) 事業費用; <u>1,958</u> (内)人件費; <u>806</u>	(※表内、平成29年12月期(目標)) 事業費用; <u>1,778</u> (内)人件費; <u>626</u>
今期の業績予想及び今後の業績目標 (6) 事業費用の推移 (P29)	(※グラフ内、平成27年12月期 (目標)) (事業費用) <u>20.69</u> (事業費用(開発費除く)) <u>18.34</u> (開発費) <u>2.35</u> (研究開発費) <u>5.79</u> (施設関連費) <u>1.91</u>	(※グラフ内、平成27年12月期 (目標)) (事業費用) <u>20.40</u> (事業費用(開発費除く)) <u>18.10</u> (開発費) <u>2.30</u> (研究開発費) <u>6.30</u> (施設関連費) <u>1.74</u>
	(※グラフ内、平成28年12月期 (目標)) (事業費用) <u>22.59</u> (事業費用(開発費除く)) <u>18.16</u> (開発費) <u>4.43</u>	(※グラフ内、平成28年12月期 (目標)) (事業費用) <u>20.75</u> (事業費用(開発費除く)) <u>17.31</u> (開発費) <u>3.44</u>
	(※グラフ内、平成28年12月期 (目標)) (事業費用) <u>19.58</u> (事業費用(開発費除く)) <u>17.63</u> (開発費) <u>1.95</u>	(※グラフ内、平成28年12月期 (目標)) (事業費用) <u>17.78</u> (事業費用(開発費除く)) <u>17.74</u> (開発費) <u>0.34</u>
今期の業績予想及び今後の業績目標 (7) 人員計画 (P30)	(※グラフ内、平成27年12月期 (目標)) (総数) <u>73</u> (研究開発部門) <u>49</u>	(※グラフ内、平成27年12月期 (目標)) (総数) <u>65</u> (研究開発部門) <u>45</u>
	(※グラフ内、平成28年12月期 (目標)) (総数) <u>73</u> (研究開発部門) <u>49</u>	(※グラフ内、平成28年12月期 (目標)) (総数) <u>65</u> (研究開発部門) <u>45</u>
	(※グラフ内、平成29年12月期 (目標)) (総数) <u>73</u> (研究開発部門) <u>49</u>	(※グラフ内、平成29年12月期 (目標)) (総数) <u>65</u> (研究開発部門) <u>45</u>
今期の業績予想及び今後の業績目標 (8) 資金計画 (P31)	(※グラフ内、平成26年12月期 (目標)) (事業費用) <u>23.37</u>	(※グラフ内、平成26年12月期 (目標)) (事業費用) <u>22.75</u>
	(※グラフ内、平成27年12月期 (目標)) (事業費用) <u>19.95</u>	(※グラフ内、平成27年12月期 (目標)) (事業費用) <u>20.40</u>
	(※グラフ内、平成28年12月期 (目標)) (事業費用) <u>22.59</u>	(※グラフ内、平成28年12月期 (目標)) (事業費用) <u>20.75</u>
今期の業績予想及び今後の業績目標 (8) 資金計画 (P31)	(※グラフ内、平成29年12月期 (目標)) (事業費用) <u>19.58</u>	(※グラフ内、平成29年12月期 (目標)) (事業費用) <u>17.78</u>
	事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件 (安定収益獲得に向けての方針/施策) (2) 開発戦略～パイプラインの状況 (P34)	・5-HT2B拮抗薬 (RQ-00310941) : 報告書作成中 ・5-HT2B拮抗薬 (RQ-00310941) : 第 I 相臨床試験開始 (英国、平成27年6月) (※表内、5-HT2B拮抗薬前臨床試験→第 I 相)
	事業の進捗状況及び今後の見通し	— (※表内ダルババンシン削除) ※ダルババンシン (抗MRSA抗菌剤、

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

修正箇所	修正前	修正後
し並びにその前提条件（導出済みポートフォリオの状況）(1)契約締結済みプログラムの状況（P40）		RQ-0000002）は、平成27年6月23日にDurata Therapeutics, Inc.（現：Allergan社）より当社が日本における開発・販売及び製剤の製造に関する権利を再取得しました。
事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件（導出済みポートフォリオの状況）(2)パイプラインの状況（ヒト領域）（P41）	<ul style="list-style-type: none"> ・ダルババンシン（RQ-00000002）は米国FDAに申請し承認を取得。販売を開始しました。 ・ジプラシドン（RQ-00000003）は<u>第Ⅲ相臨床試験（国内）開始に向け支援を続けてまいります。</u> ・アシッドポンプ拮抗薬（RQ-00000004）は<u>第Ⅱ相臨床試験（韓国）が完了、第Ⅲ相臨床試験の開始に向けて支援を続けてまいります。</u> 	<p>（※ダルババンシン削除）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジプラシドン（RQ-00000003）は<u>第Ⅲ相臨床試験（国内）を開始しました。</u> ・アシッドポンプ拮抗薬（RQ-00000004）は<u>第Ⅲ相臨床試験（韓国）を開始しました。</u> <p>（※表内ダルババンシン削除） ※ダルババンシン（抗MRSA抗菌剤、RQ-00000002）は、平成27年6月23日にDurata Therapeutics, Inc.（現：Allergan社）より当社が日本における開発・販売及び製剤の製造に関する権利を再取得しました。</p>
事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件（導出済みポートフォリオの状況）(3)ダルババンシン：RQ-00000002（P42）	・Durata Therapeutics, Inc.（Actavis plc ¹ 、Allergan, Inc. ² ）	<p>（※Durata社、Actavis社及びAllergan社関連事項を削除）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社は、平成27年6月23日にDurata Therapeutics, Inc.（現：Allergan社）より日本における開発・販売及び製剤の製造に関する権利を再取得しました。
事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件（導出済みポートフォリオの状況）(4)ジプラシドン：RQ-00000003（P43）	・Meiji Seikaファルマ社による、 <u>国内 第Ⅲ相臨床試験 準備中です。</u>	・Meiji Seikaファルマ社による <u>第Ⅲ相臨床（国内）が開始されました。</u>
事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前	・CJ社による、 <u>韓国 第Ⅱ相臨床試験が終了し、第Ⅲ相臨床試験を準備中です。</u>	・CJ社による、 <u>第Ⅲ相臨床試験（韓国）が開始されました。</u>

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

修正箇所	修正前	修正後
提条件（導出済みポートフォリオの状況）(5)アシッドポンプ拮抗薬：RQ-0000004 (P44)		
事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件（導出済みポートフォリオの状況）(12)共同研究の状況：イオンチャネル創薬② (P51)	・共同研究契約の成果を受け、新たな段階の共同研究契約（平成26年4月）	・共同研究契約の成果を受け、新たな段階の共同研究契約（平成27年4月）

※修正後の「平成27年12月期～平成29年12月期中期経営計画（修正）」は、次ページ以降をご参照下さい。

2. 修正の理由

最近の業績動向のほか、本日平成27年7月10日に公表いたしました『役員報酬の減額に関するお知らせ』及び『営業外収益、営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ』による影響を検討した結果、平成27年5月19日に公表いたしました『平成27年12月期～平成29年12月期中期経営計画』の修正を行うことといたしました。

主な増減要因は、平成27年12月期については、役員報酬の減額等に伴い、事業費用は29百万円減少することとなりました。一方、外貨預金の為替換算等により営業外収益42百万円、複合金融商品評価損等により営業外費用14百万円、特別退職金の計上に伴う特別損失37百万円により、当期純損失は200百万円改善する見通しとなりました。

以上の結果、平成27年12月期の業績予想を営業利益△1,440百万円（前回発表予想値△1,469百万円）、経常利益△1,378百万円（前回発表予想値△1,435百万円）、当期純利益△1,475百万円（前回発表予想値△1,495百万円）に修正いたします。

また、平成28年12月期の業績予想を営業利益△875百万円（前回発表予想値△1,059百万円）、経常利益△875百万円（前回発表予想値△1,059百万円）、当期純利益△879百万円（前回発表予想値△1,063百万円）、平成29年12月期の業績予想を営業利益△178百万円（前回発表予想値△358百万円）、経常利益△178百万円（前回発表予想値△358百万円）、当期純利益△181百万円（前回発表予想値△362百万円）に修正いたします。

※ 将来の事象に関わる記述に関する注意

業績予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。